

小山市事務事業評価シート

令和3年度版

No. 16

1. 基本情報										3. Check - 評価 -											
<1> 事業・業務名		粟宮新都心整備事業			<2> 事業・業務の別		事業			実績評価	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か？		1. 妥当である								
<3> 選定基準		② 事業の範囲や経費等について、市の裁量の余地がある事業			<4> 継続業務・新規業務の別		継続業務				<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か？		2. 検討を要する								
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	4 暮らしやすく住み続けたい 地域の活力を生かしたまちづくり			<6> 担当部(局)		都市整備部				<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか？		2. 変わらずにある								
	中項目	4-2 みんなの暮らしを支える生活基盤整備			<7> 担当所属		市街地整備課				<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か？		1. 妥当である								
	小項目	4-2-1 市街地整備			<8> 担当係等		粟宮新都心推進担当				<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか？		1. 向上の余地はある								
	施策	粟宮新都心整備の推進									<29> 総合計画基本計画施策への貢献度は大きいのか？		2. 中位								
<9>根拠法令・計画等		粟宮新都心基本計画			<10>関連・類似事業						<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか？		1. 向上の余地はある								
<11> 会計		一般 会計		<12>予算科目		8 款 4 項 1 目			<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か？		4. 実施済み										
<13>実施期間		年度 ~ 年度		<14>全体事業費		千円			<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか？		2. 検討を要する										
<15>実施手法		一部委託		「その他」の場合 ()																	
2. Do - 実施 -										4. Action - 改善 -											
<16> 事業・業務の概要		粟宮新都心基本計画に基づく、粟宮地区まちづくりを核とする住宅地・産業用地等の開発ゾーンと新市民病院を核とする医療・健康介護施設展開ゾーンの整備を推進する。								事業の改善	<33> 総合評価		2. 改善の余地はある		理由 まちづくり推進協議会の役員が中心となって、まちづくりの機運を醸成するなど改善の取組みを行う余地はある。その他の基本計画に掲げたブロックについても見直す余地は十分にある。						
目的		<17>事業・業務の目的 粟宮新都心基本計画で掲げた整備方針・実現化策に基づきブロック毎に検討を進め、新都心に相応しい土地利用の形成を目指す。									事業の課題 <34> 事業の改善点 粟宮新都心基本計画の策定後、社会情勢の変化に併せて、立地適正化計画や第8次総合計画の策定、都市計画マスタープランの変更に着手するなど、上位計画が策定・見直しつつあることから、上位計画の内容を踏まえ、基本計画を見直す時期にきている。限られた財源中で持続可能なまちを形成していくためには、真に必要な事業を精査していく必要がある。										
対象		<18>事業・業務の対象 粟宮新都心基本計画エリアの住民、粟宮地区まちづくり推進協議会、関係事業者、地権者																			
手段		<19>令和2年度の活動内容 現在事業化に向け検討を進めているのは粟宮地区5ブロックと新駅設置の2事業。粟宮地区5ブロックについては、低未利用地を市街地として相応しい土地利用への転換を図るため、対象区域の地権者を集めた勉強会、面エリア検討部会等への支援を実施した。粟宮新駅の設置可能性検討については、引き続きJRとの協議を行った。								事業の計画											
<20>活動指標(活動した量や実績)		指標名		単位		令和元年度		令和2年度						令和3年度		令和4年度					
		勉強会等開催回数		回		11 10		8 3		9		9									
成果		<21>事業・業務の成果 R1年度に実施した対象区域の地権者土地利用意向アンケート調査の結果を分析し、勉強会やまちづくりニュースなどでフィードバックした。また具体的な検討を進めるため5ブロックの分科会として面的整備エリア検討部会を立ち上げ2回開催し、まちづくりへの機運を高めた。しかし新型コロナ感染防止対策により開催延期を余儀なくされ、予定よりも進捗しなかった。								<35> 1次評価		所属長		3. 現状維持		理由 粟宮新都心基本計画の見直しは必要であるが、現在実施中の粟宮地区5ブロックに対する技術支援、及び新駅設置の可能性についての調査検討は、市街地整備の基本方針として取り組むべき事業である。					
<22>成果指標(活動の成果の量や実績)		指標名		単位		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		<36> 2次評価		所管部長		3. 現状維持		理由 市街地においては、良好で健全な市街地環境の形成と、土地の適正かつ有効な利用促進に向けて、都市基盤整備の充実を図る必要があることから、粟宮新都心整備事業を継続実施すべきと考える。	
		検討部会参加人数		延べ人		-		-		50		18									
資源		<23>投入指標(投入するお金の量)		コスト実績		単位		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度							
								計画(予算) 実績(決算)		計画(予算) 実績(決算)		計画(予算) 実績(決算)		計画(予算) 実績(決算)							
				千円		12,133 7,497		5,427 1,649		12,927		15,853									
		事業費等		千円		10,000 5,364		4,000 935		11,500		13,000									
		財源内訳		千円																	
		国・県補助金		千円																	
		地方債		千円																	
		その他		千円																	
		一般財源		千円		10,000 5,364		4,000 935		11,500		13,000									
		人件費		千円		2,133 2,133		1,427 714		1,427		2,853									
		正職員		千円 × 人役		7,108 × 0.3 7,108 × 0.3		7,132 × 0.2 7,132 × 0.1		7,132 × 0.4		7,132 × 0.4									
		他の職員		千円 × 人役		× ×		× ×		× ×		× ×									
		<37>実施計画・今後の方針		・粟宮地区5ブロックにおける面的整備エリアについては、市街地として望ましい土地利用が実現できるよう引き続き支援を行う。 ・粟宮新駅設置可能性についての調査検討については、上位計画との整合性を図りつつ、引き続き協議検討を進める。 ・その他基本計画に位置付けられたブロック毎の整備方針等については、これまでの状況を整理し、上位計画やとの整合性を図れるよう、令和5年度以降に見直しを行う。								<38>活動・成果目標		まちづくり団体が推進母体となって、地域住民や地権者、関係事業者、市等と積極的に持続可能なまちの姿について議論し、合意形成を図り、実現していく体制づくりを公民一体で実現していく。							